

No.	採択時期	団体名	活動対象	事業名称	事業概要	採択額(万円)	選定理由
1	第二期	株式会社キズキ	東京および全国(オンライン)	困難を抱えた若者向けのビジネススクール	新型コロナウイルス感染症の影響により、失業が増えるなど就労状況が不安定な状況にある。本助成金を活用し、就労が困難な若者を対象に、弊社就労移行支援事業のプログラム(デジタル領域のトレーニングと実践)および弊社学習教室事業の研修(相談視点・学習支援のトレーニングと実践)を実施する。最終的に、当プログラムを通し、「デジタル人材」「福祉人材」として、様々な場所で活躍できる人材を育成する。	2,000	福祉事務所のデジタル化、生活困窮者の学習支援、いずれもコロナ禍における地域課題を解決する重要な課題だと思います。いずれの業務も実績があり、成果が期待出来ると思います。若者と親和性の高いITスキル獲得・実践とITに弱い福祉施設の課題解決を結びつけるよい事業と思います。「大卒で単純事務業務にはつきない」というタイプの人を対象にする就労支援事業は必要で、そこに焦点をあてて事業を考えているこいは評価できる。
2	第二期	特定非営利活動法人 全国福祉美容師養成協会	東京都、関東圏、愛知県	美容×医療福祉「アピランスサポーター」—高齢者やがん患者を支える福祉美容プロ人材	コロナの影響で、時短営業や売上減少を余儀なくされている対面接触型のサービス業(在宅ワークが困難な職種)である美容室やネイルサロン、エステサロン等の従事者、デパートの美容部員など、技術や接客のスキルが未熟な若手人材に対して、訪問理美容、アピランスサポート(がん患者の外見支援)の先駆者として専門研修を提供し、コロナ禍における医療介護現場の新しいニーズに対応するサービスを提供できる人材へと育成する。	1,500	非常に手堅いビジネスモデルであり、それなりの成果は期待できる。経済的に弱い立場になりかねない女性の就労と、社会的に大きな課題となりつつある高齢者やがん患者などのアピランスへの対応を組み合わせたモデルは素晴らしいと思います。美容と医療福祉の掛け合わせ事業は、ニーズをよく把握している。また、理美容の資格を有しながら活かしていない人が多いという実態、限定された女性の職種を拡大している必要性があるという現実に応える構想になっている。
3	第一期	特定非営利活動法人 北海道エンブリッジ	北海道	中小企業の若者就業機会モデル構築拡大事業	アルバイト減での困窮や、就職活動・職業観醸成の機会を失って不安を抱える29歳以下の学生・若者へ、北海道内中小企業でのアルバイト・インターンシップの機会を提供する。高校・大学生のインターンが各所で中止・縮小している中で、オンラインも活用した新しいインターンの場を創出する。地元での就職を考える若者が、中小企業の魅力を感じながら北海道が抱える地域課題にも挑戦できるよう、若者と企業双方の環境を整備する。	1,200	若年人口の減少、地域経済の疲弊などの地域課題解決にむけて雇用を創出するというアイデアは高く評価します。コロナの状況で学生などのニーズにこたえる事業であり、北海道が抱える課題にも対応したのになっている。札幌以外も射程に入っているのはよい。
4	第一期	認定NPO法人 コロナブスアカデミー	神奈川県	よこはま型若者ニューディーラー—コロナ禍社会で生き抜くための人材育成事業	コロナ禍により失業や収入が減った、特に飲食業界の若者へ、今後必要とされる業界で働いていけるスキルを身に付け、経験を積む機会を提供する。飲食やイベントなどコロナの影響を強く受けている業界で働く若者は、非正規雇用が多く、かつ業界として雇用機会が減っていて転職も容易ではない。そこで、デリバリーやECサイト運営を中心とした就労実習を提供し、今後ニーズの高まる業界での新たなキャリア形成に向けた支援を行う。	1,200	手堅い事業だと思いました。団体の実績も豊富であり、一定の就労支援の効果は期待できると感じます。他方で、ポストコロナの社会を創るあたらしいことの開発にチャレンジしてほしいという印象もあります。(事務局との提案の再調整を経て採択)
5	第一期	特定非営利活動法人 G-net	岐阜、愛知、三重	新しい就労モデルによる若者就業支援事業—リモートと実地のハイブリッドなモデル作り	生活や学業に影響を受けている大学生、仕事が激減している休業者やフリーランスの若者へ、リモートワークを含めた多様な形態で業務参画が可能なプログラムを実施する。東海地域の地域課題解決に寄与する事業者(地場産業やNPO等)にてプロジェクト型の業務機会を創出し、リモートワーク等個々の事情に合わせて全国の若者の参加を受け入れる。Withコロナ時代の働き方を若者も事業者も実践することで、事業モデル化を目指す。	1,200	事業の実績もあり、リモートワークでの支援の可能性も期待できる。

No.	採択時期	団体名	活動対象事業名称	事業概要	採択額(万円)	選定理由
6	第一期	特定非営利活動法人Switch	宮城県 Cash for Work みやぎー「コロナ後の成長分野を見据えた就労支援」	農業(農作業・地域づくり・販路拡大)やITを中心とした職業体験・実習を提供する。活動地域である仙台・石巻では、不安定な非常勤雇用下にあった20代前半までの若者や、製造業・飲食業に携わっていた40代までの若者などの困窮が増加している。一方、地域の主幹産業である、農業・漁業の慢性的な人手不足や、コロナによるIT化需要に対応する人材不足があるため、両者を繋ぎながら若者の望む働き方を支援する。	1,146	農業やICTという東北地域での求人が見込める分野に特化した事業はよいと思う。対象者のセグメンテーションをしっかりと、支援内容が効果を上げるように設計して頂きたい。
7	第二期	特定非営利活動法人 学生人材バンク	鳥取県 YELLFOR地域・若者応援プロジェクトー新たな就労モデル構築拡大事業	新型コロナウイルスの影響により、バイト減少により大学生の生活・学業の継続懸念や経済的背景も一因にDVを始めとした女性相談件数増加するなど、若者を中心に困難な状況下にある。本事業では①地域事業者の業務を切り出し柔軟な雇用環境で働くことができる環境づくり②公益活動を担う団体での新たな就業機会の創出(実践型インターンシップ)により若者の仕事を通じた自立支援、持続可能な新たな就業モデルの構築拡大を行う。	1,142	コロナで生じた地域課題というわけではないが、慢性的な地域の担い手不足という問題の解決に貢献できる可能性は高いと感じられた。バイト先減少という学生の抱えている課題に対応している点、学生にとって有意義な経験となりそうな点、地域の企業にとってありがたい活動である点、地域全体の地方創生に資するものである点などが、優れていると思います。活動経験が相対的に長いこともあって現状認識、スキームが手堅い。
8	第一期	一般社団法人フミダス	熊本県 熊本豪雨災害支援PR・販促事業ー若者の力を被災企業の復興の力に	熊本地震・熊本豪雨災害・新型コロナウイルスという多重災害の影響を受けた地元企業のPR・販促活動業務参画の機会を地域内外の若者に提供する。コロナ禍の全国的な影響を前にして、熊本の復興支援や情報発信が困難になっている中で、地域内外の若者が協力して主に地元旅館・酒造会社等の情報発信に携わる。被災地での課題解決を通じて、若者の当事者意識や起業家精神、課題解決能力を育み、能力開発を支援する。	1,124	地域課題への対応、災害復興のモデルとしての他地域への波及可能性も考えられる。
9	第一期	一般社団法人 サステイナブル・サポート	岐阜県、愛知県 ICTによる地域活性化プロジェクト	障害福祉サービス等既存の制度事業の利用が困難でありながら収入が減った、又は就労経験がない若者へ、基礎就労スキルとITスキルを中心とした職業訓練と、地域ボランティア(学校・公共施設の消毒等)や就労実践の機会(飲食・観光業のプロモーションのIT支援等)を提供する。打撃を受けている地域コミュニティに協力することでIT技術の獲得と自尊心の回復を目指し、併せてテレワークなど若者自身の働き方の選択肢を増やす。	1,113	飲食店の販売サポートや小中学校の消毒など、まさにコロナがもたらした地域課題の解決に向けて若者が取り組むというのはストーリーが明確であり、非常に重要。仕事内容は地域課題に対応したものにしている。対象者のセグメンテーションをしっかりと、提供する支援とマッチするような事業設計を支援することを期待する。
10	第一期	特定非営利活動法人 農スクール	神奈川県 農を職と食に！一人と野菜を育てる農スクール	コロナ禍で失業や収入が減った学生・若者へ、農作業及び農村・農業の課題解決を通じた就労支援を行う。活動地域は、首都圏でありながら、田舎の様相を残した藤沢の農地で、活発な地域交流がある一方で、人手不足などの課題も抱えている。そこで、地域の農家・農業法人に出向し、農作業を中心にしながら、経営・営業・販売や地域とのつながりを活かした多様な仕事経験の機会を提供し、農業に限らない様々な仕事への就職を支援する。	800	引きこもりなど就労困難層を対象とする支援のように聞こえましたが、基本的には就農支援のプロジェクトであるように思う。面白い事業と思うが、普段団体が支援している困難層とは異なる対象者の募集をしっかりとできるか、農家の課題を収集して事業化ということが申請書に書いてあるがヒアリングでは具体性がなかったので設計の際には精査すべき。(事務局との提案の再調整を経て採択)

No.	採択時期	団体名	活動対象事業名称	事業概要	採択額(万円)	選定理由
11	第二期	一般社団法人 YOU MAKE IT	福岡県 外国人留学生のキャリア支援事業—キャリアビジョン実現のための就労支援	新型コロナウイルスの影響を受け困窮している在留外国人へのキャリア・就労支援を通じて就職率が上がるとともに、企業の外国人受け入れ態勢の整備や地域住民の理解などが進み、在留外国人の就労支援スキームが構築され、在留外国人をサポートする受け入れ企業や行政、地域ボランティア等により本事業が自発的に継続して展開される状態を目指します。	800	外国人は今後重要な支援対象者となり、本助成金の対象になるのは幅が広がる。単なる就職支援だけでなく、共生社会を目指すというコンセプトはよい。外国人留学生にとって就職は難易度が高いが、業界は人材を必要としている。両者の間に立ってきめ細かく就職支援をすることは意味があるだろう。しかし、このような事業をビジネスとしてではなく、休眠預金を使い本人に現金を支払って実行するというスキームは普遍性という点では疑問がある。
12	第二期	特定非営利活動法人LAMP	岩手県陸前高田市 コロナ渦の若者と農業を救う CSAの実証—人と消費のシェアによる地域農業の実現	本プログラムは「コロナ渦の若者と農業を救う」ために、(1)農業人材のシェアをする(2)消費者のシェアをする(CSAの実証)を実施、支援対象者の一部に、子育て世帯や困難をかかえる人などの社会的弱者を加える。就労の出口として受入農家による雇用、複数受入農家による雇用、新規就農の3つを用意する。with・afterコロナの対応を見据えつつ、地域のセーフティネットとして機能する「新しい農業」の形を目指す。	800	面白いことに挑戦していると思った。やろうとしていることは面白いし、社会的価値もあると思います。CSAがうまく構築できるかどうか最大の課題かつ成否の鍵なので、CSAの構築ができそうな事業計画にすべき。就労支援の部分だけみると、人材を必要としている農家をいかに拡大していくかが大きな仕事で、その数が十分であれば、あとはマッチング機能があれば動くだろう。そこに現金の支払いが申請ほど必要かどうか疑問がある。CSAのスキーム作りには特化するということなら意義はある。
13	第二期	一般社団法人グラミン日本	東京、神奈川、埼玉、千葉 若年母子家庭のデジタル人材化支援事業—コロナと戦い子育てを両立する新たな働き方	若年シングルマザーの適性に合わせたケアを行いながら、①グラミン式の起業・就労支援のノウハウ提供、②デジタルスキル習得トレーニングやOJTの場の提供、③習得スキルを活かした実践機会の提供、④シングルマザー特化の人材マッチングプラットフォームの提供、⑤雇用受入れ企業に対するフォローの提供を行う。各ステップにおいて、支援実績や知見のある提携企業・団体との協働でプログラム開発と品質確保を行う。	600	連携先の企業は魅力的に映る。また、シングルマザーを対象としている点も評価できる。シングルマザーの実態をきちんと把握したうえで支援スキームの構築を期待する。少なくとも学歴、職歴によってシングルマザーを区分けし、どこにターゲットを絞った支援なのか明確である必要がある。